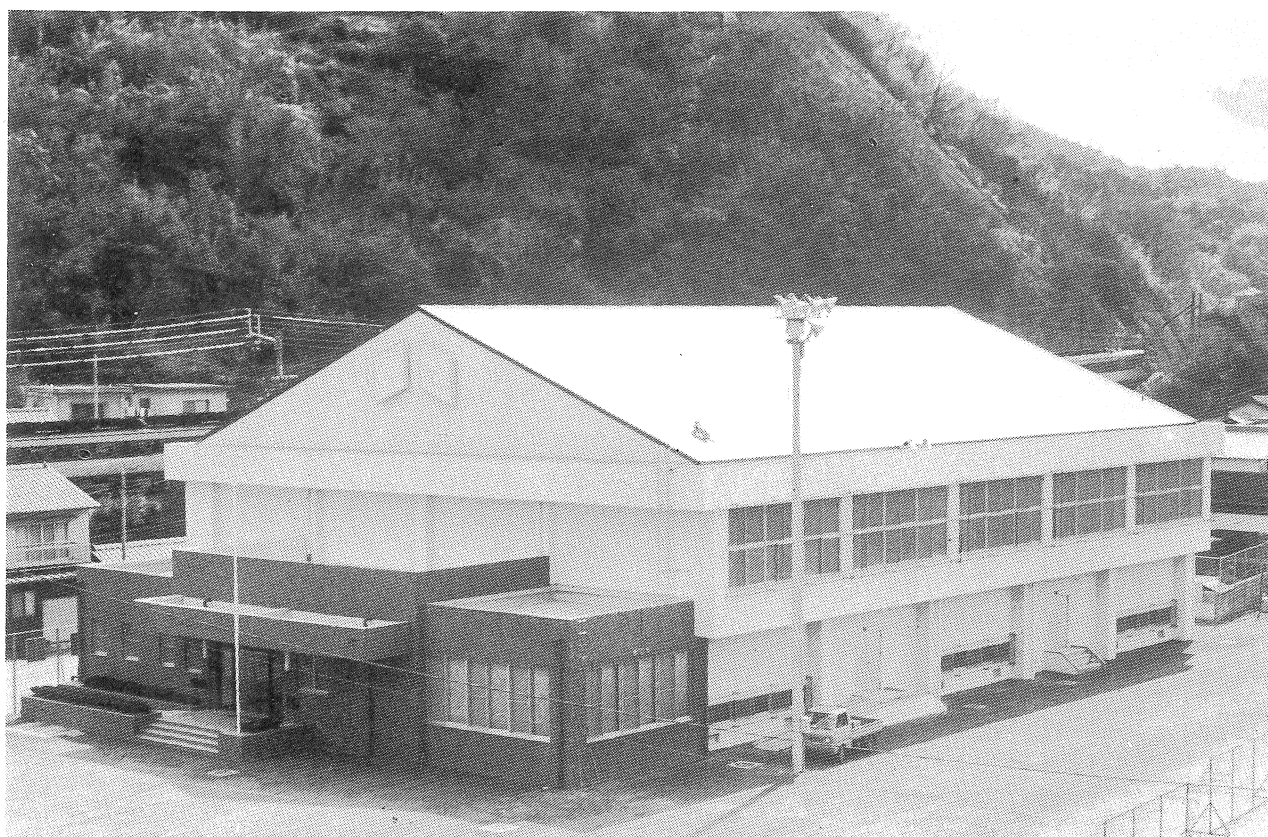


広報 ながはま 4月号



長浜中学校横に完成した長浜勤労者体育センター

勤労者体育センターが完成

今月号の主な内容

- 新学期を迎えて……………2
- 森林組合長に小西考夫氏……………3
- 青春万歳(丸井和恵さん)……………3
- 一歳ですコンニチハ(二宮俊博くん)…4
- 寝たきり老人の看護法……………5
- ルポ・まちの先覚者(久保健治郎)……6
- 表彰・歳時記……………7
- 戸籍のうごき・電電コーナー……………8

昨年十月から建設を進めてきた長浜勤労者体育センターが長浜中学校横の町民運動場にこのたび完成しました。

これは、中小企業に働く労働者のための施設を充実し、勤労者の福祉の増進を図るために建てたもので、鉄筋コンクリート平屋建て、建築面積は延九一九・二五平方メートル、管理室、談話室、脱衣室、身障者用トイレなどとなっています。

四月からバレーボール、バドミントン、バスケットボール、卓球、テニスなどの種目に利用できます。使用料は、団体、一般、中学生以下の子供にわけて、半日ではそれぞれ八百円、五百円、三百円徴収することになっています。

新学期を迎えて

お母さんが先生です

新入学(園)児の交通安全



子供の交通事故防止

新学期が始まりました。

いつでも、どこでもお子さんが安全に行動できるようにするためには、日常生活のなかでの、日ごろのお母さんの努力こそがものをいうのです。

子供を交通事故から守るために、知ってもらいたいこと、ぜひお子さんに教えてもらいたいことを、まとめてみましょう。

具体的な教え方を

●実際の体験を通して教えることが大切です。

通学、通園時間に合わせて、お子さんと一緒に通学(園)路を何回か歩いて、信号機の見方、横断歩道の正しい渡り方を指導するようにしましょう。

また、同じ道でも、時間や曜日によって交通事情が変わることもあわせて教えておきましょう。

●子供には「ああしてはいけない」「こうしてはいけない」といっても、あまり効きめはありません。安全な行動を具体的に教えて実行させ、ほめながら教えると効果があります。

●道路を横断する前に、必ずいったん停止する習慣をつけさせましょう。それには日ごろから、曲り角では必ず止まるなどの習慣をつけて注意深い子供に育てましょう。



●道路では遊ばないように、ふだんから徹底して注意しましょう。最近では、裏通りを通る車が多くなっています。いっそうの注意が必要です。

生活にゆとりを

また、子供が毎日の生活で時間のゆとりを持つことも、交通事故にあわないための大切なポイントです。

●寝る前に翌日の準備をすませるように習慣づけ、登校時間に余裕をもたせるようにしましょう。

あわてて登校し、忘れ物に気づいて家に引き返す途中で、事故にあうケースが多いのです。

帰宅後の

遊びにも注意を

●帰宅後、遊びに行つてよい範囲や帰宅時間などを決めて、子供にしっかりと守らせるようにしましょう。

●子供に自転車を利用させる場合には、子供の年齢や体力に適したものを選び、ときどきお父さんと一緒に点検や整備をしましょう。

ドライバーの皆さんへ

子供を交通事故から守るためには、ドライバーの皆さんの安全運転と、子供たちへの思いやりが必要です。

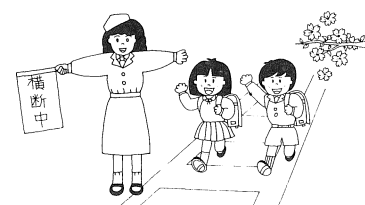
ぜひ、次の点を厳守してください。

- 子供の「飛び出し」は突発的です。子供の姿を見たらスピードを控え目にし、徐行運転を。
- 子供が道路を横断しようとしているときは、後続車に合図を。
- 発進、後退のときは、周囲に子供がいなかったかを確認。
- 左折するときは、左側に自転車に乗った子供や歩行者がいないことを十分確かめて徐行を。

普段から以上のことに気をつけて、長浜町から交通事故をなくしましょう。



気くばりと ゆとりで 築こう 伊予路の安全



春の全国交通安全運動

4月6日～15日

人命尊重の精神に徹し、広く皆さんに交通安全思想の徹底を図り、思いやりとゆずりあいの心で正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけるため、県民総ぐるみで交通安全運動を強力に推進し、住みよい交通環境づくりを促進して、交通事故の防止を図ることを目的に、四月六日から十五日までの十日間、春の全国交通安全運動が実施されます。

この運動の重点目標として、①子供と高齢者の交通事故防止②二輪車の交通事故防止③シートベルト着用の推進を掲げて取り組むことにしています。

ドライバーの皆さん、交差点では、よく見る、止まる、徐行して通りましょう。

歩行者の皆さん、交差点では、止まって、よく見て、手で合図して渡りましょう。

みんなで気をつけて、町内から交通事故をなくしたいものです。

新組合長に

小西考夫氏

森林組合総代会開く



二月二十二日町体育館で、第二十六回長浜町森林組合総代会が開かれました。

八幡浜地方局大洲出張所長、県森連専務、長浜町長などの来賓祝辞のあと、昭和五十八年度の事業報告、五十九年度の事業計画、手数料率、役員報酬などの議案審議が行われました。

最後に役員改選が行われ、新しい組合長に小西考夫氏（六〇〇写真）が選ばれました。

小西組合長は「このように経済情勢の厳しい時期であり、役職員が丸となって、森林経営がよくなるよう努力したい」と語っています。

役員は次の通り。

【組合長理事】小西考夫（豊茂）

【理事】岡本亀格（上老松）、菊地

旧小型船舶操縦士免許を
丙種航海士以上の「お持ちの方へ講習を受けて免許を

昭和四十九年五月二十五日以前に取得された旧小型船舶操縦士免許または丙種航海士以上の航海士関係の免許をお持ちの方は、現在、（財）日本船舶職員養成協会などが行っている三時間の講習を修了すると一級小型船舶操縦士の免許が取得されます。

特に、旧小型船舶操縦士免許は、五月二十五日限りで無効となりますので、同日までに一級小型船舶操縦士免許に切替えてください。

嘉彦、大成淳（以上豊茂）、大野和徳（下須成）、大塚勉（白滝）、城本音松（戒川）、水沼宗六（櫛生）、和田永吉、西山一正（以上出海）、平岡武利（今坊）、東正行（黒田）、窪昭一（柴）、加納勝利（須沢）【監事】徳田敬四郎（下須成）、奥野義矩（大越）、酒城茂基（出海）

得られます。

この制度は今年の五月二十五日で終了することになっています。

現在、まだ講習を終了していない方は、早く受講して一級小型船舶操縦士の免許を取得するようにしてください。

また、昨年は長浜青果農協のみかん娘として、今年は伊予柑娘として参加させていただきます。ユニフォームは、真赤のワンピースとパンタロンスーツで、それを着て八人が歩いていくと、とっても目立つので最初のうちは恥ずかしくてたまりませんでした。だんだん日程をこなしているうちに慣れてきて、かえってユニフォームを着ているのが誇らしく、あたり前のようにになりました。そして、そのユニフォームを着ていると、えひめみかんの宣伝にもなり、嬉しく思いました。

そのままにしておくと、今後、小型船舶に乗ることができなくなり、ますから、十分ご注意ください。以上の権利を失わないためには、運輸大臣が指定する講習機関において講習を受けることが必要です。講習の予定は、次の通りです。で、該当する方は期日までに受講してください。

【実施日】四月二日、十六日、五月七日

【実施場所】760高松市春日町片田一七四八一（財）日本船舶職員養成協会四国支部

詳しいことは、（財）日本船舶職員養成協会四国支部 ☎0878-411721・6331 か四国海運局船舶職員課 ☎0878-2115621 までお問い合わせください。

みそ、せんべいなどの他用途利用米を

生産しよう

水田利用再編対策

長期的な視点にたつて需要の動向と地域の実態に即した転作の定着化を図る目的で、昭和五十九年度から六十一年度までの三年間、水田利用再編第三期対策が実施されることになりました。

転作の目標面積は、三・一・八〇で、奨励補助金は別表の通りです。他用途利用米は、みそ、せんべい、米穀粉などの加工原材料用として全国集荷団体を通じて売り渡すものです。

他用途利用米の生産、出荷は、農業者と全国集荷団体との間で契約を結んで行うことになりました。

他用途利用米の生産面積は転作面積として取り扱われます。また、他用途利用米に対して政府助成金六〇キロ〇〇当り、四千二百円が支払われます。

土地条件や営農条件などを考え合わせ、農協などと相談し、他用途利用米を生産して、検査を受け出荷することになります。

詳しいことは、役場農林水産課へお問い合わせください。

奨励補助金（10アール当り）

区分	基本額	備考
永年性作物	43,000	備考 5年間
特定作物	35,000	
一般作物	20,000	
野菜	15,000	
保全管理	15,000	3年間

青春万歳

月日のたつのは早いもので、高校を卒業してから四年が過ぎました。今、ふり返ってみて、「この期間何をしていたのかなあ、何か自分に身につけていることがあるかな」と思っても何もありません。

昨年の九月までは、松山のデパートに勤めていましたが、通勤するのにはちよつと遠すぎると思います。デパートは、朝はゆつくりしていますが、夜が遅くなるのでどうしても不規則な生活になってしまいます。地元長浜にもつ

みかん娘の体験を生かして 地元で働く職場を



丸井和恵

(22歳)

今坊・家事手伝

は参加することができないし、日曜日の活動は全然できないことです。でもこれからは、青年団活動にもっと積極的に参加したいと思っています。

また、昨年は長浜青果農協のみかん娘として、今年は伊予柑娘として参加させていただきます。ユニフォームは、真赤のワンピースとパンタロンスーツで、それを着て八人が歩いていくと、とっても目立つので最初のうちは恥ずかしくてたまりませんでした。だんだん日程をこなしているうちに慣れてきて、かえってユニフォームを着ているのが誇らしく、あたり前のようにになりました。そして、そのユニフォームを着ていると、えひめみかんの宣伝にもなり、嬉しく思いました。

モニターつうしん

第一日曜日に開館

高齢者コミュニティセンター

高齢者コミュニティセンターの利用について前にも書いたことがありますが、今まで日曜日の利用は管理人の休みの関係でできませんでした。二月から第一日曜日のみ翌日との振替で利用できるようにしていただけたことは、たいへんありがたいと思います。

(長浜・藤枝廣美・65歳)

今後とも老人

関係の記事を

長浜町においても老人が多くなりつつある現在、「寝たきり老人の看護法」と題して十二月号から

連載されており、毎月興味深く読んでいます。たいへん参考になり、今後もこのような記事が続いて欲しいと思います。

(豊茂・菊地良武・41歳)

増田さんと高左さん

長浜風の執筆者

「長浜風」はどなたの投稿でしょうか。毎回興味深く読ませてもらっているのですが、著者名を記されたほうが良いと思います。

(出海・清水道代・24歳)

お答え：このコラムは一月月交替で、長浜の増田晴茂さん(66歳)と高左潔さん(67歳)にお願いしています。

書く者の励みに

モニターつうしんの掲載

モニター通信を引き受けた五十

一歳ですコンニチハ⑫

二宮俊博くん(戒川)

58年3月28日生まれ



父親から「俊」、母親から「一字」(ひろ)をとって「俊博」と名付けました。初めての子供で、最近の世の中の動きに対応できて、時の流れを泳ぎきることができるように、また心のやさしい子に育ってくれるよう願っています。

(父正俊さん36歳・母洋子さん26歳)

八年度も終わろうとしています。やっとバトンを渡せるようになり、「やれやれ」と肩の重荷をおろすような感じています。

「月号の主な内容」欄は、六月号から採用いただき、モニターつうしんは主なものをも十月号から載せられるようになって、モニターの励みになり、書く意欲も増してよかったです。

(長浜・藤枝廣美・65歳)

町民運動場の

クロツケー場は

勤労者体育センターが建設中ですが、以前町民運動場にあったクロツケー場は他の場所へ移されたのでしょうか。

老人の楽しみをなくしては、横のつながり、コミュニケーションがなくなってしまうと思いますので考慮して欲しいと思います。

(沖浦・細川邦男・29歳)

死亡者の

放送は早めに

有線放送で、二三日遅れで誕生や死亡の放送をされていますが、誕生の方はこれでもいいと思いますが、死亡の場合は葬儀に参列できるように早めに放送できないものではないでしょうか。

(長浜・藤枝廣美・65歳)

町政と住民の

パイプに

広報ながはまのコンクール入選

本当におめでとうございます。毎年のように賞に入って、こちらまで嬉しくなります。これからも町政と住民のパイプ役として、大いに役立ててもらいたいと思います。

(出海・清水道代・24歳)

自己の可能性を

見いだして

「この人」徳田耕二君：雄図むなく交通事故のため、身体障害者になっても新たな生き方に挑戦し、自己の可能性を見いだしていく生活態度が好ましいと思います。過保護に育つ子供が多く、根性が育たないといわれる今日、こういう努力の人もあるという紹介記事はたいへんよいと思います。

(長浜・藤枝廣美・65歳)

単車を運転する人

ヘルメットの着用を

車を運転していていつも思うのですが、五十ccの単車を運転している人で、ヘルメットをかごの中に入れて乗っている人が多いようです。何のために持っているのでしょうか。もう一度考えて欲しいと思います。

(沖浦・細川邦男・29歳)

除雪対策を

今年は例年になく寒波の襲来が多く、毎日寒い日が続いています。今年は二回の雪積があり、特に山間部では、雪のためチェーンをま

いても車の運転ができず、通学、通勤、また日常生活においても非常に不便をきたしています。県道においては、除雪をさせていただいていますが、町道は除雪が遅れたり、行わない所があるようです。今後積雪があった場合には除雪について考慮して欲しいと思います。

(豊茂・菊地良武・41歳)

各地区の

ニュースを

三月号の表紙で出海小学校の記事が印象に残りました。立派な小学校が完成しましたが、これに続いて体育館も建設して欲しいと思います。体育館は、小学生はもちろん、地区住民が最も必要とするものであると思います。地元のことを載ると親近感を覚えます。各地のニュースなどいろいろとり入れて親しみのある広報紙にしてください。(出海・清水道代・24歳)

努力賞に選ばれる

白滝PTA広報紙

白滝小学校のPTA広報紙に、第一回県小中学校PTA連合会広報紙コンクール小学校の部で「努力賞」が贈られることになりました。手書きの広報紙の中から、特集「制服を考える」などの内容に優れ、発行回数も多いということで「努力賞」をいただくようになったようです。

(白滝・上田真理・33歳)

寝たきり老人の看護法

①

目覚めから就寝まで

洗面は

一日のスタート

朝の洗面は、一日のスタートとして大切です。忘れないようにしましょう。

順序は次のとおりです。

- ① 枕をはずす（あごがふきやすい）
- ② 頭の下に大タオル（バス・タオル）襟もとに中タオル（手ぬぐいの大きさ）を当てる。
- ③ 熱い湯でしぼった小タオル（ハンカチの大きさ）を手に巻き、目頭から目じり↓額↓鼻↓頬↓鼻の

下↓口の下↓あごの順にふき、襟元に当てている中タオルで湿り気をとる。

④ 首の回りをふく場合は、あごの下↓耳の下側↓後ろの首すじの順で。

目頭と目じりは、目やにがたまりやすいので、気をつけてふいてあげましょう。目やにが固くついているときは、一〜二％の硼酸水か湯ざましを綿かガーゼに湿らせて、目頭から目じりへとふきます。耳の中、耳の後ろなどは、あかがつきやすい部分ですから、細か

いとところまでよくふきます。耳の穴は、タオルを指に巻いてふいてあげましょう。ときには、綿棒や耳かきを使って、耳あかを取り除いてください。耳あかがたまっていると耳が聞こえにくいことがよくあります。

顔は朝夕洗ったりふいたりしま



春のおだやかな日射しをあびて、野や山に山野草を探りに出かける機会が多くなりました。年に数回のハイキングやピクニックでは、普段の運動不足の解消にはなりません。

しかし、歩くということもやり方しだいで立派な運動になります。

まず靴は、歩いたり走ったりした時に振動で膝などに無理がかからないよう、底の厚いものを選びます。舗装道路は土の道よりも硬いので、かかとや足首などに無理がかかりや



はつて上体をまっすぐに保ちます。歩き方は、ふみ出した足はかかとから地面に着け、歩幅は大きく、腕を振り、肩は力をぬいて歩きましょう。

もし足が痛くなった場合、けつてがまんしないで、痛みがなくな

運動不足の解消に 歩く運動を始めましょう

すいのです。底、特にかかとの部分が厚く、しかも柔に曲がるものを選びます。サイズを見るだけでなく、歩きやすいかどうか確かめましょう。

なるまで運動は休みます。これを予防するためにも、運動の前後に筋肉やスジを伸ばす準備、整理運動を必ずしましょう。伸ばすのは、ふくらはぎ、アキレスけん、太ももの前側と後ろ側、

内ももと股関節の六か所です。寒い時は体が硬くなっていますから省いたりせず、十分に

今日から歩き始めるという方は、前回の注意事項を十分守り、一日に十分間続けて早足で歩くことから始めましょう。そして夏は特に、冬でも水分の補給をお忘れなく。（保健婦・原間）

へるすあい（ヘルスアイ）とは「健康の目」

すから、特に汚れていないかぎり石けんなどは使わず、お湯だけでよいでしょう。

で、ていねいにふいてください。男性はひげが伸びるとやつれてみえますから、毎日そるようになします。かみそりは、電気かみそりがよいでしょう。そり上ったら、熱めのおしぼりでふいて仕上げをします。

ストレスに打ち勝つ

中年からの

心の健康学

中年は「人生の黄金時代」といわれます。

会社では仕事にも精通し、それ相應の社会的地位や財産もでき、家庭では一家の柱として、家族のきずなを深めていく、いわゆる脂の乗りきった魅力あふれる年代です。

ところが一方では、この年代こそ、いちばん大きな「厄難」が待ちかまえている時期なのです。

衰えを感じる年代

まず感じるのが体力の衰えでしょう。毎朝、鏡を見ながら「ああ白髪が増えたな」とつぶやき、視力や聴力が衰え始めるのも、四十年代からです。

また、記憶力や計算能力などが若いころより少しずつ衰退していることにハッととし、「年をとるとはならないなあ」と感ずるのもこの四十年代からです。

ある調査によると、この年代の

人たちの十人のうち七人は持病があります。また、残る三人の人たちも朝食抜き、睡眠不足、酒・たばこの飲み過ぎなどで、将来、病気とおつきあいをする下地がつくられつつあります。

現在では、平均寿命も伸び、七十歳くらいまでは優に生きられるようになりまし。そうしなければならぬほど、幸福というものの大半が健康にかかっていることを、だれもがしみじみと実感されることでしょう。

老年期への備え

病気というものは、突発的に起こるものではなく、その前の時期に原因がつくられるものです。老年期における健康を確保するには、四十代つまり中年のうちから考えておく必要があります。

健康への配慮をせずに酒に逃げ、あぐくの果てにアルコール中毒になったり、ボケてしまったり、という人も決して少なくありません。

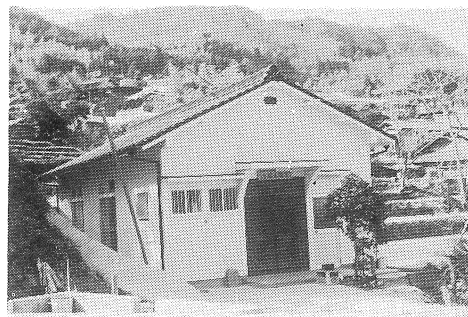
おそらく、仕事は一生懸命やっても、老年期をどう生きるかという、中年のもうひとつの大切な課題を忘れて過ごしてしまつたからでしょう。

ルポ・まちの先覚者

コミュニティ活動に

小谷集会所完成

平家建て。建築面積五八・三三平方。集会所は十

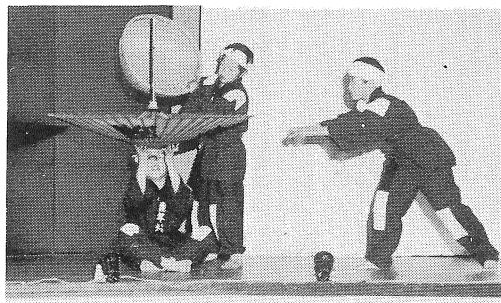


柴の小谷地区に集会所が完成。木造かわらぶき二畳が二間。建設費四百五十六万円。昨年九月二十一日に着工して、十二月二十二日に完成したもので、同地区の十九世帯が活用。コミュニティ向上に役立ってほしいもの。

文化の町づくり

第三回芸能発表会

雨水といわれる二月十九日、町体育館で第三回芸能発表会が開かれた。お年寄りや子供たちおよそ五百五十人が訪れて、「矢切の渡し」などの舞踊や、大和小学校児童による豊年踊り、そのほか詩吟、民謡などごろの練習の成果を披露して盛んな拍手をあげていた。



青少年の健全育成

親子音楽教室

二月十五日喜多灘小学校で、親子音楽教室が開かれた。これは青少年の健全育成を目的に、児童、父兄あわせておよそ百五十人が参加。校長先生の健全育成についての講話や「森の熊さん」を親子で歌ったり、県警音楽隊を招いて生演奏を聴き、地域ぐるみで健全育成に取り組んだ。



子供への愛情とは

出海幼児教育・婦人学級

二月二十一日、出海公民館で幼児教育、婦人学級が合同で開かれた。講師に松田寿雄さんを迎えて、「子供への愛情とは」と題して講演が行われた。出席した二十三人の学級生は、「子供へ手をさしのべることが愛情の根本である」という先生の話を熱心に聞いていた。



まちの先覚者 ⑬

久保健治郎



今坊村戸長に二十二歳で就任し十一年間勤めた。明治二十三年町村制の施行にともない、喜多灘村村長となり、大正二年（一九一三）まで二十三年間村政につくした。更に大正四年には郡会議員に当選、大正十二年まで八年間つとめ、戸長以来四十五年間にわたり地方自治に貢献してきたのである。

今坊の久保健治郎は、庄屋久保春之進昌重の長男として安政五年（一八五八）八月二日に生まれた。久保家十三代目の当主である。

久保家は奥州藤原氏の流れをくみ、室町時代の貞治二年（一三六三）峰今坊に築かれた滝山城（田風呂喜城）の城主となった久保隠岐守頼春以来、代々久保姓を名乗り、久保行春まで十代続いた。

天正十三年（一五八五）豊臣秀吉の四国討伐の際、下城の勧告があり、九代久保国春は嫡子行春と共に武門を捨てて一介の野人となったが、慶長年間（一六〇〇頃）今坊の庄屋を仰せ付けられ、以来明治五年（一八七二）庄屋制度が廃止されるまで二七〇年続いたのである。国春と行春の廟が菩提所である満野の願正寺の外に今も建っている。

このようにして続いて来た久保家を、健治郎は明治三年（一八七〇）に相続したが、庄屋制度が廃止され戸長制度になると、明治十二年（一八七九）からは

健治郎の父昌重は、温和で節儉を旨とし、荒蕪を開き植林をしたが、その血を受けついで健治郎も勤勉力行、儉約貯蓄を旨として、夫婦協力して荒蕪地の開墾、松・桧等の植林につとめた。

健治郎の生まれたころは、明治維新の激動期で、庄屋制度の廃止によって処世を誤り、没落した庄屋が多かったが、喜多郡で有数の旧庄屋として残り、地方自治に尽瘁するとともに、久保家隆盛に大いに努力した。

大正十五年（一九二六）八月十八日、六十八歳で没した。

健治郎の長男久保重徳は十四代目として、東京高等商業学校卒業後、京都・松山・宇和島の高校教員をつとめたが、健治郎の死後退職して帰り、昭和三年から同十七年まで喜多灘村村長として、親子二代にわたり、喜多灘村政に尽くして来た。

（長浜町文化財保護審議会委員・久保七郎）

表彰***

日本消防協会会長表彰に

立脇、津田分団長 消防

次の方々は、消防活動に功勞、功績があつたことにより、三月十八日に長浜中学校で行われた昭和五十九年消防出初式の席上、それぞれ表彰されました。敬称略。

【日本消防協会会長表彰(功績章)】立脇宇之助(青島) 津田光雄(今坊) 【愛媛県知事表彰(功勞章)】谷上光秀(今坊) 飛田盛茂(豊茂) 【愛媛県消防協会会長表彰(功績章)】河井昭昌(出海)▽勳統章 村上仁幸、中村多志男、増田僧太郎、桑野公志、桑野哲敏(以上櫛生) 松田孝幸(須沢) 西上一志、熊野強(以上白滝) 久保田三千治(戒川) 【大洲・喜多消防団連合会長表彰(勳統章)】政所直邦(黒田) 田淵純一、高崎基近、神田佳男、浜田一義(以

上長浜) 城戸博文(櫛生) 野村勇、尾上賢一(以上下須戒) 亀田哲久、大成豊功、佐々木晋一、尾上正則(以上豊茂) 清水好政、宇都宮辰生、二宮正俊

(以上戒川)▽規律章 松本信一(沖浦) 桐田和嶋(今坊) 沢井融(須沢) 野地高弘(出海) 富田幸雄(豊茂) 石堂勝重(戒川) 【長浜町長表彰】小西秀喜(沖浦) 東信利、中川弘美(以上黒田) 西岡平(長浜) 播本イツミ(青島) 坂本政頼、谷上一志、高岡利久、池田齊、亀井実、松岡憲二、松田紘一(以上今坊) 有友正博、水沼和弘(以上櫛生) 橋本宏尚、尾野幸弘、酒城匡、篠田高夫、木村隆、垣見正志、後藤世紀(以上出海) 井上嘉寿彦(下須戒) 宮川利憲(豊茂) 城本誠一(白滝)▽無火災章 出海分団 【長浜町消防団長表彰(精勳章)】飯野紘一、小谷護、松石義人(以上長浜) 二宮隆義、浪本忠則、清水勉(以上

沖浦) 岡理三郎、山本キク子、宮内美須恵、松下寿、川井スエコ(以上青島) 松浦正夫、宮田保範、東富士男(以上今坊) 矢野上和雄(無事喜地) 河内満男、村上仁幸、中村多志男、増田僧太郎、桑野公志、清水敏一、吉田昭雄、石山栄一、政所憲一、桑野哲敏(以上櫛生) 松田孝幸(須沢) 金岡政高、中村儀行、豊田芳弘、畑山泰典(以上出海) 西内清信、松岡功、畦勝美(以上下須戒) 矢野安美(上老松) 久井一(大越) 久保美千夫、玉井一明、久保田奈臣(以上白滝) 石堂義忠、宮下喜之夫、久保一広、中野忠則(以上戒川) 山中高光、上満武(以上柴)

このほかに、昨年六月七日に松山市で開かれた県消防大会の席上、次の方々が表彰されています。 【愛媛県知事表彰(自治体消防制度発足三十五周年記念特別章)】東吉成(長浜) 中見藤雄(今坊) 竹内勝(櫛生) 菊地正利(穂積) 山本通雄(白滝) 源愛護・住民活動推進大会の席上、伊達博典コミュニティ推進協議会大洲地方協議会長から表彰されました。

山本補佐ら五人

自治功勞

役場総務課の山下国広課長補佐(四二)、横道里見主事(五二)、振興課の山本辰雄課長補佐(四四)、住民課の平田豊子係長(五二)、出海保育所の玉井徳美所長(五三)は、多年町村職員として町村自治の振興発展に功績があつたことにより、一月三十一日、東京で開かれた全国町村

長浜高等学校

清掃美化活動に功績

長浜高等学校は、全校生徒が一丸となり海岸線の清掃美化活動を通じて住みよい地域社会づくりに貢献していることにより、二月二十八日五十崎町コミュニティセンターで開かれた昭和五十八年度資

宮本さんら16人

公民館優良役職員

三月十一日、中央公民館で第七回長浜町公民館研究大会が開かれ、次の方々は公民館活動に積極

的に参加し、優良役職員として功績があつたことにより、同大会の席上、金橋通朝中央公民館長から表彰されました。

宮本幹之進、矢野美佐子(以上長浜公民館) 宮井直(青島公民館) 鎌田治郎吉(沖浦公民館) 津田龍

「佐保姫の筆かと思えるつくつくし 雪かき分くる春のけしきは」と藤原為家の歌にあります(夫木和歌抄)。佐保姫とは、春を司る女神。ツクシは昔、つくづくしともいつていたようです。早春、筆に似たかわいらしい姿をみせるツクシには昔の人も心をひかれたのでしょう。

「つくしだれの子すぎなの子」と思っている人もいるようですが、ツクシとスギナは親子というより、兄弟といったほうがいいようです。ツクシはスギナの地下茎から出る胞子茎で、スギナは栄養茎に当たるものです。

ツクシの語源ははつきりしませんが、山形県の庄内地方などで杭のことをツクシというのと関係があるのかもしれない。

ツクシは、おひたし、からし和え、ツクシ飯などにして食べます。茶わん蒸しにも入れます。また、子供のころ、ツクシをはかまのところで切って、またつ

歳時記

ツクシ

雄、谷上貢(以上今坊公民館) 西山一正、石山豊(以上出海公民館) 渡辺久義(大和公民館) 大成淳(豊茂公民館) 尾上幸利、熊野章(以上白滝公民館) 森川俊行、中島春雄(以上柴公民館) 宮本増憲、久保田三千治(以上戒川公民館)

ないで「どこ継いだ？」と当てっこして遊んだ記憶をお持ちの方もいると思います。

さて、土筆を筆にして春のたよりを一筆啓上、というわけでもありませんが、四月二十日、二十六日は郵便週間。これは四月二十日の通信記念日(明治四年、東京―大阪間に初めて新式郵便制度が発足した日)を初日とした一週間です。これと同じ期間に全日本郵便切手普及協会などの主催で切手趣味週間も行われ、記念切手が発行されます。

なお、ツクシそのものを描いた切手は日本にはありませんが、日本の歌シリーズという切手の中に、小さくツクシが描かれているものがあります。



